

令和 6 年 1 月 27 日

研究に関するホームページ上の情報公開文書

研究課題名：川崎病の心後遺症発症メカニズムの解明と制御に向けた尿中バイオマーカーの開発

本研究は藤田医科大学の医学研究倫理審査委員会で審査され、学長の許可を得て実施しています。

1．研究の対象

2015 年 4 月から 2026 年 12 月までに、藤田医科大学病院、藤田医科大学ばんだね病院を受診し、川崎病または尿路感染症、その他の発熱疾患で入院された方。

2．研究目的・方法・研究期間

川崎病は、主に乳幼児に発症し、全身の血管に炎症が起こることによって発熱・発疹など様々な症状を引き起こす病気です。中でも、心臓に栄養を送る「冠動脈」という血管に炎症が起こった結果、こぶ（「冠動脈瘤」と呼びます）ができることがこの病気の最大の問題点です。治療法の進歩により冠動脈瘤ができることは以前より少なくなりましたが、未だに数%の患者さんに冠動脈瘤ができてしまいます。しかし、どのような患者さんに冠動脈瘤ができるのか、冠動脈瘤がどのようなメカニズムで現れるのか、といったことの多くは分かっていません。

川崎病においては冠動脈だけでなく腎臓など他の臓器の血管にも炎症を起こすことが知られており、近年、特殊な画像検査により腎臓と冠動脈の炎症に関連があることが報告されています。そこで私たちは、川崎病の患者さんや、腎臓に炎症を起こす病気である尿路感染症で入院した患者さんの血液・尿を用いて炎症物質（サイトカインなど）を解析し、腎臓の炎症と冠動脈瘤との関連について検討します。また、川崎病・尿路感染症が否定された発熱疾患の患者さんの検体も比較のため解析します。これにより、冠動脈瘤の発症を予測する方法の開発や、川崎病の病態解明、さらには新たな治療法の開発を目指します。

【方法】入院中に診療上必要のため患者さんから採取した血液、尿検体の余りを用い、サイトカイン類（炎症が起こるときに現れる様々なタンパク質）を測定します。

【研究期間】承認された年月日～2027 年 3 月 31 日

3．研究に用いる試料・情報の種類

試料：血液、尿

情報：病歴、治療歴、検査結果（血液・尿・心臓超音波検査）、カルテ番号 等

4．外部への試料・情報の提供

藤田医科大学ばんだね病院における検体（血液・尿）および診療情報は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で藤田医科大学に送付されます。対応表は、当院の研究責任者が保管・管理します。

5．研究組織

本学の研究責任者：藤田医科大学 小児科 助教 松本祐嗣

6．除外の申出・お問い合わせ先

試料・情報が本研究に用いられることについて研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合には、研究対象から除外させていただきます。下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、お申し出により、研究の対象となる方その他に不利益が生じることはありません。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

藤田医科大学 小児科

担当者：松本祐嗣

愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98

電話 0562-93-9251

e-mail:yamatsumo@fujita-hu.ac.jp